

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則無期限
運用方針	日本を除く世界各国の公社債への投資により、投資信託財産の長期的な安定成長を図ることを目的として、安定運用を行うことを基本とします。
主要運用対象	ベビー・ファンド グローバル・ボンド・マザーファンド 受益証券を主要投資対象とします。なお、直接債券等に投資する場合があります。
	マザーファンド 日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
組入制限	ベビー・ファンド 株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得する場合に限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド 株式への投資は新株予約権付社債等の権利行使等により取得する場合に限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として、毎決算時(5月23日、11月23日。ただし決算日が休業日の場合は翌営業日)に、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。(ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。)収益の分配にあてなかつた利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

Morgan Stanley

グローバル・ボンド・オープンIM

運用報告書（全体版）

第45期（決算日 2021年5月24日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「グローバル・ボンド・オープンIM」は、去る2021年5月24日に第45期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用報告書に関するお問い合わせ先

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社
業務部

〒100-8109 東京都千代田区大手町一丁目9番7号
大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

電話番号：03-6836-5140

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.morganstanley.com/im/jp

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク	債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率		期中騰落率		
41期（2019年5月23日）	円 10,411	円 50	% 2.6	% 17,274	% 3.2	% 89.8	% — 百万円 677
42期（2019年11月25日）	10,652	50	2.8	17,899	3.6	89.8	— 702
43期（2020年5月25日）	10,869	50	2.5	18,551	3.6	93.0	— 692
44期（2020年11月24日）	10,960	40	1.2	18,871	1.7	94.5	— 702
45期（2021年5月24日）	10,598	30	△3.0	18,396	△2.5	97.5	— 681

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) ベンチマークとしてFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース：25%為替オープン+75%為替ヘッジ）を使用しています。

為替オープン部分は基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

為替ヘッジ部分は基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。なお、ファンドの設定日の値を10,000として指数化しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク	債券組入比率	債券先物比率
		騰落率			
（期首） 2020年11月24日	円 10,960	% —	% 18,871	% —	% 94.5 —
11月末	10,969	0.1	18,882	0.1	91.9 —
12月末	10,976	0.1	18,913	0.2	93.4 —
2021年1月末	10,913	△0.4	18,832	△0.2	94.1 —
2月末	10,633	△3.0	18,379	△2.6	95.1 —
3月末	10,670	△2.6	18,440	△2.3	97.7 —
4月末	10,654	△2.8	18,429	△2.3	97.6 —
（期末） 2021年5月24日	10,628	△3.0	18,396	△2.5	97.5 —

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

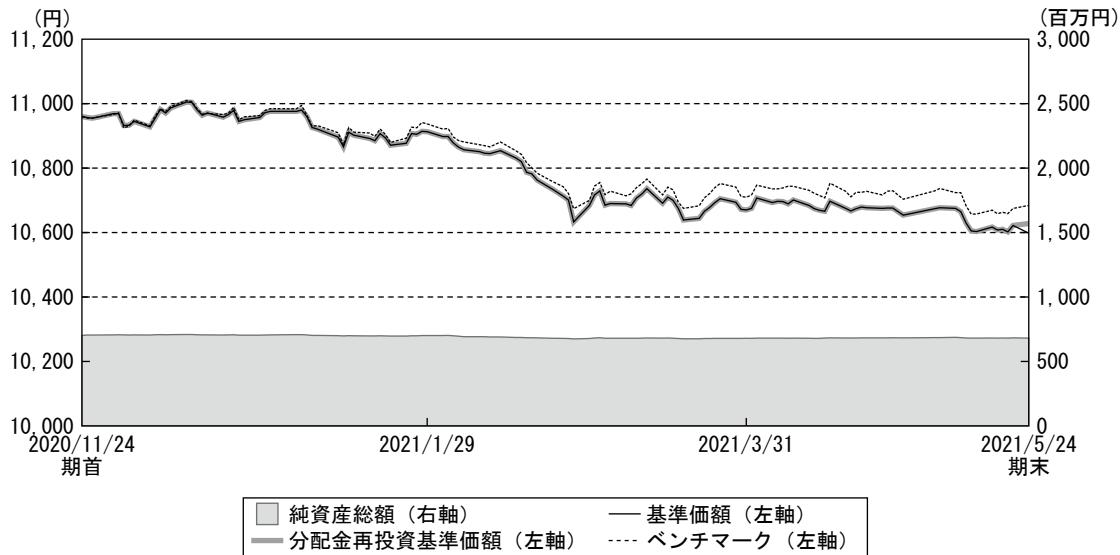
(注4) ベンチマークとしてFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース：25%為替オープン+75%為替ヘッジ）を使用しています。

為替オープン部分は基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

為替ヘッジ部分は基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。なお、ファンドの設定日の値を10,000として指数化しています。

■運用経過

基準価額等の推移



第45期首：10,960円

第45期末：10,598円（既払分配金30円）

騰落率：△3.0%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同値にして指數化しています。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース：25%為替オープン+75%為替ヘッジ）です。為替オープン部分は基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算し、為替ヘッジ部分は基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。ベンチマークは、期首の値を基準価額と同値にして指數化しています。

基準価額の主な変動要因

当期は、主に米国を中心に債券市場が下落（利回りは上昇）したことで、期首に10,960円でスタートした基準価額は期末には10,628円（分配金30円込）と下落しました。

投資環境

- ① 米国債券市場は、ワクチン接種の進展と大規模な経済対策の実施を背景に、今後の景気回復の加速が想定され、加えて、将来的な金融緩和策の縮小の可能性が意識されたことで、金利が大きく上昇する展開となりました。
- ② ドイツ債券市場においても、経済正常化への期待を背景に、米国債券市場に連動しつつ、金利が上昇しました。しかし、感染再拡大の動向などから、米国程には景気見通しが改善しなかつたことから、金利上昇幅も米国に比べると小幅に留まりました。
- ③ 為替市場において、米国での景気回復の加速期待や、それに伴う金利の上昇を背景に、これまでの米ドル安傾向が反転し、米ドル高の展開となり、ドル円市場については円安米ドル高が進行しました。

ポートフォリオ

マザーファンドへの投資を通じて、主要先進国公社債の国別・残存期間別組入れ比率を債券市場の変化に対応して機動的に調整するとともに、為替ヘッジを適宜実行し、安定した利息収入と売買益の確保をめざして運用してまいりました。また、運用手法としては、金利予測・為替予測よりも、各国の経済ファンダメンタルズ、インフレ動向、長短金利差および実質金利動向を重点的に分析・適用する「バリュー・アプローチ」を採用しています。この方針に基づき、組入れ銘柄の残存期間を調整し、ポートフォリオを構築しました。また、為替戦略に関しては、為替予約取引を活用しながら、バリュー・アプローチの観点から投資妙味のある通貨に積極的に投資を行いました。

(1) 債券戦略

ワクチン接種と経済正常化の進展は金利上昇要因になると想え、加えて、時期尚早な金融緩和策解除の議論に繋がる場合には金利ボラティリティが一段と上昇する可能性も考慮し、米国やユーロ圏、英国等のアンダーウェイト幅を拡大し、ポートフォリオ全体としてデュレーションをアンダーウェイトに変更しました。ユーロ圏内においては、ECBの緩和策やEU復興基金といった財政政策がサポートになると想え、スペイン国債をオーバーウェイトとする戦略を継続しました。

(2) 為替戦略

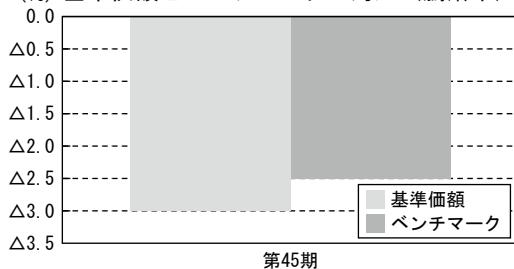
米国での低金利環境長期化等が米ドル安要因として考えられた一方で、金融政策及び財政政策による下支えを背景とした欧洲地域経済や金融市场の安定化が欧洲通貨をサポートすると想え、ノルウェー・クローネ等の欧洲通貨を米ドルに対してオーバーウェイトとする戦略を適宜調整しつつ、継続しました。

新興国通貨においては、米金利上昇をきっかけとする米ドル高局面が新興国通貨にとってマイナスに作用する可能性を考慮し、メキシコ・ペソのオーバーウェイト戦略を解消しました。

ベンチマークとの差異

期中の騰落率は、ポートフォリオが△3.0%、ベンチマークが△2.5%となり、0.5%のアンダーパフォームとなりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。為替戦略におけるノルウェー・クローネのオーバーウェイト戦略等がプラスに寄与しました。一方、債券戦略においてオーストラリアをオーバーウェイトとしていたことはマイナス寄与しました。

(%) 基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



分配金

当期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり30円とさせていただきました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第45期	
	(2020年11月25日～2021年5月24日)	
当期分配金 (対基準価額比率)	30	0.282%
当期の収益	18	
当期の収益以外	11	
翌期繰越分配対象額	3,810	

■今後の運用方針

米国債券：経済の正常化を背景に景気回復が進展することは、金利の上昇圧力に繋がる要因として考えられます。また、金融緩和策縮小の議論次第では金利のボラティリティが高まる可能性にも留意が必要と考えられることから、債券戦略においては米国のデュレーションをアンダーウェイトとする方針です。

欧洲債券：ユーロ圏においても景気回復の進展に伴い、量的緩和政策の縮小が想定されることは金利の上昇要因として考えられます。ただし、中長期的な観点からインフレ率はECBの目標水準には達しづらく、緩和的な金融政策が想定されることは、金利の過度な上昇を抑制する要因として考えられます。

為替戦略：米国の実質金利が依然として低いこと等は中長期的に米ドル安に繋がる要因として考えられます。一方で、米国の景気回復の加速やそれに伴う米金利の上昇は、米ドル高に繋がる要因でもあることから、米ドルのアンダーウェイトを基本としつつも適宜調整する方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2020年11月25日～2021年5月24日)		項目の概要
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	68円 (32) (32) (3)	0.627% (0.300) (0.300) (0.027)	a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他) 合計	12 (1) (8) (3) 80	0.112 (0.013) (0.076) (0.023) 0.739	b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用

当期中の平均基準価額は、10,802円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

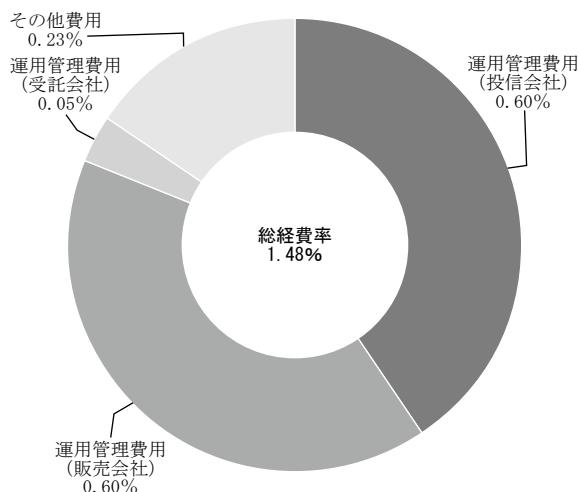
(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.48%です。



(注1) 各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2020年11月25日から2021年5月24日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 31,557	千円 57,202	千口 40,914	千円 74,262

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2020年11月25日から2021年5月24日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(2021年5月24日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 價 額
グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 382,202	千口 372,845	千円 683,537

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末におけるグローバル・ボンド・マザーファンド全体の口数は3,155,496千口です。

■投資信託財産の構成

(2021年5月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
グローバル・ボンド・マザーファンド	千円 683,537	% 98.9
コ ー ル・ロ ー ン 等、そ の 他	7,796	1.1
投 資 信 託 財 产 総 額	691,333	100.0

(注1) グローバル・ボンド・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(5,696,278千円)の投資信託財産総額(5,809,774千円)に対する比率は98.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、2021年5月24日における邦貨換算レートは、1米ドル=108.98円、1カナダドル=90.30円、1メキシコペソ=5.4706円、1ユーロ=132.76円、1英ポンド=154.11円、1スウェーデンクローナ=13.10円、1ノルウェークローネ=13.01円、1ポーランドズロチ=29.5308円、1オーストラリアドル=84.21円、1ニュージーランドドル=78.08円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年5月24日) 現在

項目	当期末
(A) 資産	1,235,006,400円
コール・ローン等	382,568
グローバル・ボンド・マザーファンド(評価額)	683,537,042
未収入金	551,086,790
(B) 負債	553,388,169
未払金	546,207,983
未払収益分配金	1,929,473
未払解約金	229,768
未払信託報酬	4,335,534
その他未払費用	685,411
(C) 純資産総額(A-B)	681,618,231
元本	643,157,804
次期繰越損益金	38,460,427
(D) 受益権総口数	643,157,804口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,598円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	641,324,140円
期中追加設定元本額	52,996,583円
期中一部解約元本額	51,162,919円

■損益の状況

当期 (自2020年11月25日 至2021年5月24日)

項目	当期
(A) 配当等収益 支払利息	△4,568円 △4,568
(B) 有価証券売買損益 売買益 売買損	△15,590,846 28,077,769 △43,668,615
(C) 信託報酬等	△5,020,945
(D) 当期損益金(A+B+C)	△20,616,359
(E) 前期繰越損益金	16,737,898
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	44,268,361 (218,218,207) (△173,949,846)
(G) 計(D+E+F)	40,389,900
(H) 収益分配金 次期繰越損益金(G+H)	△1,929,473 38,460,427
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	44,268,361 (218,298,851) (△174,030,490)
分配準備積立金 繰越損益金	26,782,084 △32,590,018

(損益及び余剰金計算書関係)

分配金の計算過程

投資信託約款に基づき計算した分配可能額は247,010,408円であるが、基準価額水準、市況動向および収益分配方針を勘案し、1,929,473円（1万口当たり30円）を分配金額としております。

■分配金

1万口当たり分配金（税込み）	30円
----------------	-----

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と特別分配金にわかれます。
- 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が特別分配金、残りの部分が普通分配金となります。
- 特別分配金が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後個々の受益者の個別元本となります。

■お知らせ

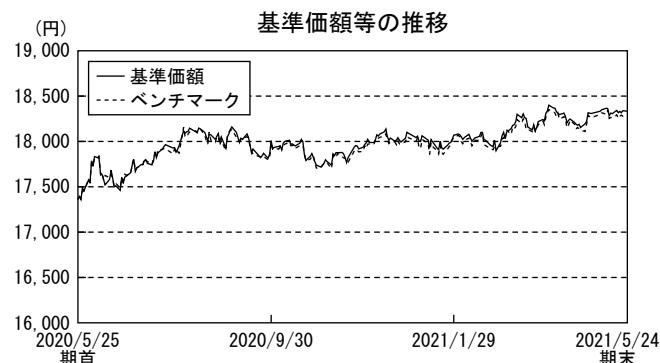
該当事項はありません。

グローバル・ボンド・マザーファンド 第18期
決算日 2021年5月24日／計算期間（2020年5月26日～2021年5月24日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	この投資信託は、主として日本を除く世界各国の公社債への投資により、投資信託財産の長期的な安定成長を図ることを目的として、安定運用を行うことを基本とします。
主要運用対象	日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券または新株引受権証書に限ります。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■運用経過（2020年5月26日から2021年5月24日まで）



(注1) ベンチマークは期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。

(注2) ベンチマークとしてFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

利が大きく上昇する展開となりました。

- ② ドイツ債券市場は、当初はECB（欧州中央銀行）による金融緩和政策を背景に金利は安定した推移となりました。その後は、経済正常化への期待を背景に、米国債券市場に連動しつつ、金利が上昇しました。しかし、感染再拡大の動向などから、米国債には景気見通しが改善しなかったことから、金利上昇幅も米国に比べると小幅に留まりました。
- ③ 為替市場において、当初は、米国での低金利環境の長期化等を背景に米ドル安傾向となり、円高米ドル安の展開となりました。一方、その後は、米国での景気回復の加速期待や、それに伴う金利の上昇を背景に、これまでの米ドル安傾向が反転し、米ドル高となり、ドル円市場については円安米ドル高が進行しました。

基準価額の主な変動要因

当期は、主に米国を中心に債券市場が下落（利回りは上昇）したことはマイナス寄与したもの、為替市場における円安により、期首に17,360円でスタートした基準価額は期末には18,333円と上昇しました。

投資環境（債券および為替市場）

- ① 米国債券市場は、当初は、先行きが不透明な経済環境と、大規模な金融緩和政策の継続を背景に、金利は概ねレンジの範囲内での推移となりました。一方、その後は、ワクチン接種の進展と大規模な経済対策の実施等を背景に、今後の景気回復の加速が想定され、加えて、将来的な大規模な金融緩和策の縮小の可能性が意識されたことで、金

ポートフォリオ

主要先進国公社債の国別・残存期間別組入れ比率を債券市場の変化に対応して機動的に調整し、安定した利息収入と売買益の確保をめざして運用してまいりました。また、運用手法としては、金利予測・為替予測よりも、各国の経済ファンダメンタルズ、インフレ動向、長短金利差および実質金利動向を重点的に分析・適用する「バリュー・アプローチ」を採用しています。この方針に基づき、組入れ銘柄の残存期間を調整し、ポートフォリオを構築しました。また、為替戦略に関しては、為替予約取引を活用しながら、バリュー・アプローチの観点から投資妙味のある通貨に積極的に投資を行いました。

(1) 債券戦略

当初は、不確実性の高い経済環境が続く中、主要中銀による大規模な緩和策の継続を背景に、金利については安定した推移を想定し、ポートフォリオ全体としてはデュレーションを若干のオーバーウェイト程度で調整しました。その後、ワクチン接種と経済正常化の進展は金利上昇要因になると見え、加えて、時期尚早な金融緩和策解除の議論に繋がる場合には金利ボラティリティが一段と上昇する可能性も考慮し、米国やユーロ圏、英国等のアンダーウェイト幅を拡大し、ポートフォリオ全体としてデュレーションをアンダーウェイトに変更しました。ユーロ圏内においては、ECBの緩和策やEU復興基金といった財政政策がサポートになると見え、スペイン国債をオーバーウェイトとする戦略を採用しました。

(2) 為替戦略

当初は、米国での低金利環境長期化等が米ドル安要因として考えられた一方で、金融政策及び財政政策による下支えを背景とした欧州経済の安定化が欧州通貨をサポートすると考え、ユーロやノルウェー・クローネを米ドルに対してオーバーウェイトとする戦略を採用し適宜調整しました。また、その後、欧州通貨では英ポンドのオーバーウェイト戦略等を採用しました。

新興国通貨においては、バリュエーション面が割安で、グローバル景気の回復局面もサポート材料と考え、メキシコ・ペソのオーバーウェイト戦略を採用したものの、米金利上昇をきっかけとする米ドル高局面がマイナスに作用する可能性を考慮し、オーバーウェイト戦略を解消しました。

ベンチマークとの差異

期中の騰落率は、ポートフォリオが+5.6%、ベンチマークが+5.4%となり、0.2%のアウトパフォームとなりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。為替戦略において、ユーロ等の欧州通貨をオーバーウェイトとしたことがプラスに寄与しました。債券戦略においては、オーストラリアのオーバーウェイト戦略がマイナス寄与したものの、米国のアンダーウェイト戦略がプラスに寄与しました。

■今後の運用方針

米 国 債 券：経済の正常化を背景に景気回復が進展することは、金利の上昇圧力に繋がる要因として考えられます。また、金融緩和策縮小の議論次第では金利のボラティリティが高まる可能性にも留意が必要と考えられることから、債券戦略においては米国のデュレーションをアンダーウェイトとする方針です。

欧 州 債 券：ユーロ圏においても景気回復の進展に伴い、量的緩和政策の縮小が想定されることは金利の上昇要因として考えられます。ただし、中長期的な観点からインフレ率はECBの目標水準には達しづらく、緩和的な金融政策が想定されることは、金利の過度な上昇を抑制する要因として考えられます。

為 替 戰 略：米国の実質金利が依然として低いこと等は中長期的に米ドル安に繋がる要因として考えられます。一方で、米国の景気回復の加速やそれに伴う米金利の上昇は、米ドル高に繋がる要因でもあることから、米ドルのアンダーウェイトを基本としつつも適宜調整する方針です。先進国通貨に対しては方向感が出づらく、レンジの範囲内での推移を見込んでいます。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

上記は将来の市況環境の変動等を保証するものではなく、このため、将来の投資成果等を保証するものではありません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク	騰 落 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率				
(期 首) 2020年 5月 25日	円 17,360	% —	120,322	% —	% 95.2	% —
5月末	17,457	0.6	120,973	0.5	94.1	—
6月末	17,742	2.2	123,063	2.3	96.2	—
7月末	17,953	3.4	123,870	2.9	93.7	—
8月末	17,927	3.3	124,065	3.1	93.7	—
9月末	18,008	3.7	124,690	3.6	95.6	—
10月末	17,740	2.2	122,728	2.0	94.9	—
11月末	17,937	3.3	124,001	3.1	94.3	—
12月末	18,090	4.2	125,045	3.9	95.1	—
2021年 1月末	18,069	4.1	125,100	4.0	95.3	—
2月末	17,899	3.1	124,359	3.4	94.8	—
3月末	18,307	5.5	126,595	5.2	96.5	—
4月末	18,308	5.5	126,569	5.2	96.3	—
(期 末) 2021年 5月 24日	18,333	5.6	126,769	5.4	97.3	—

(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

(注3) ベンチマークとしてFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	(2020年5月26日~2021年5月24日)			
	金額	比率		
その他費用 (保管費用)	4円 (4)	0.021% (0.021)	その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用	
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務処理に要するその他の諸費用	
合計	4	0.021		

当期中の平均基準価額は、17,953円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しております。

グローバル・ボンド・マザーファンド

■売買および取引の状況（2020年5月26日から2021年5月24日まで）

公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 10,225	千米ドル 12,815
		特殊債券	—	— (301)
	カナダ ユ リ 口	国債証券	千カナダドル 225	千カナダドル 144
		国債証券	千ユーロ 704	千ユーロ 360
		国債証券	637	200
		国債証券	90	—
		国債証券	858	—
		国債証券	665	71
		国債証券	147	256
		イギリス	千英ポンド 793	千英ポンド 1,354
		オーストラリア	千オーストラリアドル 2,485	千オーストラリアドル 3,045
		ニュージーランド	千ニュージーランドドル —	千ニュージーランドドル 830

(注1) 金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

グローバル・ボンド・マザーファンド

■利害関係人との取引状況等（2020年5月26日から2021年5月24日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2021年5月24日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区分	当期				期末		
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上
アメリカ	千米ドル 22,849	千米ドル 23,419	千円 2,552,248	% 44.1	% —	% 17.3	% 17.3
カナダ	千カナダドル 950	千カナダドル 1,004	90,709	1.6	—	1.6	—
メキシコ	千メキシコペソ 10,428	千メキシコペソ 11,629	63,622	1.1	—	1.1	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ					
ドイツ	2,220	2,515	333,957	5.8	—	4.1	1.7
イタリア	3,970	4,632	615,053	10.6	—	6.5	—
フランス	3,905	4,446	590,306	10.2	—	6.0	—
オランダ	310	521	69,215	1.2	—	1.2	—
スペイン	2,705	3,177	421,898	7.3	—	3.7	3.6
ベルギー	1,220	1,379	183,153	3.2	—	3.2	—
オーストリア	1,120	1,299	172,484	3.0	—	0.7	2.3
イギリス	千英ポンド 1,340	千英ポンド 1,610	248,217	4.3	—	4.3	—
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 1,180	千スウェーデンクローナ 1,224	16,046	0.3	—	0.3	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 600	千ノルウェークローネ 595	7,751	0.1	—	0.1	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 830	千ポーランドズロチ 882	26,069	0.5	—	0.5	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 2,735	千オーストラリアドル 2,793	235,220	4.1	—	2.0	2.1
合計	—	—	5,625,955	97.3	—	52.4	26.9
							18.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示（外貨建）

外国(外貨建)公社債

銘柄	当期末					
	種類	利率	額面金額	評価額	外貨建金額	邦貨換算金額
						償還年月日
(アメリカ)	国債証券	%	千米ドル	千米ドル	千円	
US TREASURY		1.125	610	612	66,734	2021/9/30
US TREASURY		1.625	4,320	4,416	481,312	2022/11/15
US TREASURY		1.375	400	410	44,695	2023/6/30
US TREASURY		2.0	3,160	3,318	361,595	2024/5/31
US TREASURY		2.125	3,820	4,053	441,769	2025/5/15
US TREASURY		1.625	1,350	1,402	152,824	2026/5/15
US TREASURY		2.875	2,330	2,581	281,378	2028/8/15
US TREASURY		1.5	2,000	1,997	217,713	2030/2/15
US TREASURY		1.125	1,170	970	105,755	2040/5/15
US TREASURY		2.5	1,650	1,711	186,521	2045/2/15
US TREASURY		2.75	640	695	75,762	2047/8/15
US TREASURY		1.25	940	722	78,755	2050/5/15
FGLMC 6%		6.0	29	29	3,253	2022/11/1
FHLMC 7%		7.0	413	479	52,290	2032/4/1
FNCL 6%		6.0	17	17	1,885	2022/9/1
小計					2,552,248	
(カナダ)	国債証券		千カナダドル	千カナダドル		
CANADA		2.0	720	758	68,454	2028/6/1
CANADA		1.25	90	88	7,980	2030/6/1
CANADA		2.75	140	158	14,273	2048/12/1
小計					90,709	
(メキシコ)	国債証券		千メキシコペソ	千メキシコペソ		
MEXICO		8.5	10,428	11,629	63,622	2029/5/31
小計					63,622	
(ユーロ…ドイツ)	国債証券		千ユーロ	千ユーロ		
GERMANY		1.0	680	726	96,429	2025/8/15
GERMANY		0.25	1,140	1,189	157,973	2029/2/15
GERMANY		2.5	400	599	79,554	2044/7/4
(ユーロ…イタリア)	国債証券		千ユーロ	千ユーロ		
ITALY		1.45	1,770	1,811	240,530	2022/9/15
ITALY		2.2	1,300	1,435	190,604	2027/6/1
ITALY		5.0	900	1,385	183,918	2039/8/1
(ユーロ…フランス)	国債証券		千ユーロ	千ユーロ		
FRANCE		2.25	1,770	1,843	244,728	2022/10/25
FRANCE		0.75	1,285	1,364	181,165	2028/5/25
FRANCE		4.5	370	633	84,125	2041/4/25
FRANCE		2.0	480	604	80,286	2048/5/25
(ユーロ…オランダ)	国債証券		千ユーロ	千ユーロ		
NETHERLANDS		3.75	310	521	69,215	2042/1/15

グローバル・ボンド・マザーファンド

銘柄	当期末					
	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…スペイン)	国債証券	%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
SPAIN		1.6	720	773	102,739	2025/4/30
SPAIN		4.65	655	790	104,947	2025/7/30
SPAIN		1.25	800	856	113,673	2030/10/31
SPAIN		4.2	270	397	52,730	2037/1/31
SPAIN		2.7	140	179	23,868	2048/10/31
SPAIN		3.45	120	180	23,939	2066/7/30
(ユーロ…ベルギー)	国債証券		千ユーロ	千ユーロ		
BELGIUM KINGDOM		0.8	300	320	42,551	2028/6/22
BELGIUM KINGDOM		0.9	420	451	60,004	2029/6/22
BELGIUM KINGDOM		3.0	140	186	24,824	2034/6/22
BELGIUM KINGDOM		1.6	200	231	30,676	2047/6/22
BELGIUM KINGDOM		1.7	160	189	25,097	2050/6/22
(ユーロ…オーストリア)	国債証券		千ユーロ	千ユーロ		
AUSTRIA		1.2	930	998	132,588	2025/10/20
AUSTRIA		4.15	190	300	39,895	2037/3/15
小計					2,386,069	
(イギリス)	国債証券		千英ポンド	千英ポンド		
UK TREASURY		0.375	180	171	26,501	2030/10/22
UK TREASURY		4.25	140	210	32,495	2040/12/7
UK TREASURY		3.5	630	900	138,844	2045/1/22
UK TREASURY		1.5	40	40	6,318	2047/7/22
UK TREASURY		0.625	350	285	44,057	2050/10/22
小計					248,217	
(スウェーデン)	国債証券		千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ		
SWEDEN		0.75	1,180	1,224	16,046	2028/5/12
小計					16,046	
(ノルウェー)	国債証券		千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
NORWAY		1.375	600	595	7,751	2030/8/19
小計					7,751	
(ポーランド)	国債証券		千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
POLAND		2.5	830	882	26,069	2027/7/25
小計					26,069	
(オーストラリア)	国債証券		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
AUSTRALIA		0.25	1,430	1,428	120,293	2024/11/21
AUSTRALIA		0.5	640	629	53,012	2026/9/21
AUSTRALIA		2.75	165	182	15,375	2028/11/21
AUSTRALIA		2.75	500	552	46,539	2029/11/21
小計					235,220	
合計					5,625,955	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

グローバル・ボンド・マザーファンド

■投資信託財産の構成

(2021年5月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 5,625,955	% 96.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	183,819	3.2
投 資 信 託 財 产 總 額	5,809,774	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(5,696,278千円)の投資信託財産総額(5,809,774千円)に対する比率は98.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、2021年5月24日における邦貨換算レートは、1米ドル=108.98円、1カナダドル=90.30円、1メキシコペソ=5,4706円、1ユーロ=132.76円、1英ポンド=154.11円、1スウェーデンクローナ=13.10円、1ノルウェーコローネ=13.01円、1ポーランドズロチ=29.5308円、1オーストリアドル=84.21円、1ニュージーランドドル=78.08円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年5月24日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	7,243,693,431円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	140,469,545
公 社 債(評価額)	5,625,955,407
未 収 入 金	1,442,077,250
未 收 利 息	33,634,947
前 払 用 費	1,556,282
(B) 負 債	1,458,845,073
未 払 金	1,440,973,622
未 払 解 約 金	17,871,177
未 払 利 息	274
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	5,784,848,358
元 本	3,155,496,273
次 期 繰 越 損 益 金	2,629,352,085
(D) 受 益 權 総 口 数	3,155,496,273口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,333円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額 3,427,813,728円

期中追加設定元本額 395,593,795円

期中一部解約元本額 667,911,250円

期末における元本の内訳 1,589,134,027円

グローバル・ボンド・オープンIM VA (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 1,193,517,080円

グローバル・ボンド・オープンIM VA-3 (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 372,845,166円

期末元本額合計 3,155,496,273円

■お知らせ

該当事項はありません。